

# 100回目の夏の甲子園きょう開幕

## 光星悲願のV今年こそ

第100回の大規模な節目を迎える全国高校野球選手権大会が5日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。記念大会の今回は例年の北海道と東京に加え埼玉、千葉、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡が2代表制となり、全国から史上最多の56校が参加する。本県から2年ぶり9回目の出場となる八戸学院光星高校(八戸市)は、大会第7日の11日、第2試合で西兵庫代表の明石商業高校との1回戦で初登場。深紅の大優勝旗に照準を定め、熱闘の火ぶたを切る。

任巻の1試合4本塁打、を収めた。しかも全部が3ラン。今季の八学光星の圧倒的な打撃力を象徴するのが、県大会準決勝の青森山田戦だ。初回表に1点先制されて迎えた裏の攻撃、すかさず同点に追い付き、その流れを6回裏に押し返すと、1死一、二塁で打席に立った但井智哉が振り切った打球は左翼席へ。二回、三回は武岡龍世が2打席連続アツチ、六回には主将長南佳洋が右翼席へと運び、コールド勝ち

この一戦を仲井奈基監督が「互いにライバルと認め合おう」と打ち明けた。堅実な守備でも、5試合合計で失策は一つだけという。昨夏の県大会決勝で涙をのんだ主戦福山優希は「最速145km/hのストレートを武器にコントロールも守備でも、5試合合計で失策は一つだけという。昨夏の県大会決勝で涙をのんだ主戦福山優希は「最速145km/hのストレートを武器にコントロールも守備でも、5試合合計で失策は一つだけという。昨夏の県大会決勝で涙をのんだ主戦福山優希は」



圧倒的な攻撃力で青森地区大会を制し、悲願の全国制覇に挑む八学光星ナイン



2年ぶり9回目となる夏の甲子園出場を決め、歓喜に沸く八学光星ナイン＝7月22日、弘前市はるか夢球場

### 強打堅守すきなし 11日初戦

甲子園出場メンバー

背番号	位置	氏名	学年
1	投手	福山 優希	3
2	捕手	山本 龍正	3
3	一塁	但井 智哉	3
4	二塁	武岡 龍世	3
5	三塁	下山 武岡	2
6	遊撃	東 健太郎	2
7	左中	長南 佳洋	3
8	中右	矢野 虎惟	3
9	右中	松本 誠	3
10	外野	成田 隆	3
11	外野	吉田 大英	3
12	外野	島田 伊太郎	3
13	外野	伊藤 林太	3
14	外野	伊藤 林太	3
15	外野	伊藤 林太	3
16	外野	伊藤 林太	3
17	外野	伊藤 林太	3
18	外野	伊藤 林太	3

責任教師・小坂 貴志、監督・仲井 奈基  
※青森県の〇は主将

### 私たちもエール!

福士 湧太さん(3年、吹奏楽部長) 今年のチームは得点力があり、安心して見ていられる。部員31人による演奏で、選手をさらに後押しできれば。特にチャンスを迎えた時のテーマ曲「フェスティボ」は威圧感たっぷり。何度でも演奏したい。



関口 由佳さん(3年、女子バスケットボール部主将) 県大会で見た、声を掛け合い、励まし合うチームワークにはバスケットに共感するものがあった。全国大会に行けなかった他の運動部の分まで、記念大会で全力を出し切ってほしい。



若間 佳乃さん(3年、チアリーディング部長) 野球もチアも仲間を信頼して一つになることが大事。記念すべき100回大会なので、東北初の優勝旗を持ち帰ってもらえるよう、私たちも素晴らしい演技で選手たちを応援します。



### 東北初の優勝旗この手に

第100回全国高等学校野球選手権大会(甲子園)において、本校硬式野球部は数々の熱戦の末、優勝の栄に浴する



八戸学院光星高等学校

校長 小野崎 龍一

お慶びお礼申し上げます。たなスタートを切りました。青森代表として2年ぶりの第100回という記念すべき回目の夏の甲子園夏合戦に、今大会では、必ずや青森県民、そして東北の悲願でもある、甲子園の歴史にその名を刻みたいと願っています。八学光星は、甲子園の歴史にその名を刻みたいと願っています。八学光星は、甲子園の歴史にその名を刻みたいと願っています。八学光星は、甲子園の歴史にその名を刻みたいと願っています。

### 春夏17回輝かしい戦績 「田村、北條時代より上」

夏の甲子園は2年ぶり9回目の出場となる八戸学院光星高校。前身の光星学院時代の輝かしい戦績を誇る。17回(春9回、夏8回)に出場し、2000年夏の甲子園で初優勝を挙げ、00年夏の甲子園で2度目の優勝を挙げた。00年夏の甲子園で2度目の優勝を挙げた。00年夏の甲子園で2度目の優勝を挙げた。00年夏の甲子園で2度目の優勝を挙げた。

### 八学光星の甲子園最終戦績

年次	回戦	対戦相手	結果
1997年春	1回戦	岡山(岡山)	3-5
同 夏	9-10	佐賀(佐賀)	9-10
98年春	2回戦	西宮(愛知)	2-3
同 夏	2回戦	西宮(愛知)	2-3
2000年夏	準決勝	福井和歌山(和歌山)	5-7
01年夏	準決勝	近江(滋賀)	6-8
03年夏	1回戦	東北(宮城)	1-2
06年春	1回戦	今治西(岡山)	4-2
09年春	1回戦	今治西(愛媛)	1-2
11年春	2回戦	福井和歌山	2-3
同 夏	2回戦	日大三(西東京)	0-11
12年春	2回戦	大阪桐蔭(大阪)	0-3
同 夏	2回戦	大阪桐蔭	0-3
14年春	2回戦	福谷大平安(京都)	2-8
同 夏	2回戦	福谷大平安	2-8
15年春	2回戦	大阪桐蔭	1-4
16年春	2回戦	福谷大平安	0-2
同 夏	2回戦	福谷大平安	0-2
同 秋	2回戦	東邦(愛知)	9-10

秋の明神宮野球大会高校の部に東北地区代表として出場。県勢初の優勝に輝き、東北大震災からの復興途上にある東北の被災地を勇気づけた。田村、北條がいた時代のチームより、総合力では上と仲井宗基監督が話す選手たちが、どんな戦いを見せられるのか。東北初の大優勝旗に期待が高まる。